

小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ・取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。

本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

電子データの取扱いについて

電子データの内容について

■本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。

■カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社(小橋工業株式会社)が著作権その他知的財産権を保有します。無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面に基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基づく保証は提供いたしません。

お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

以上

小橋工業株式会社

コバシアゼローター

取扱説明書

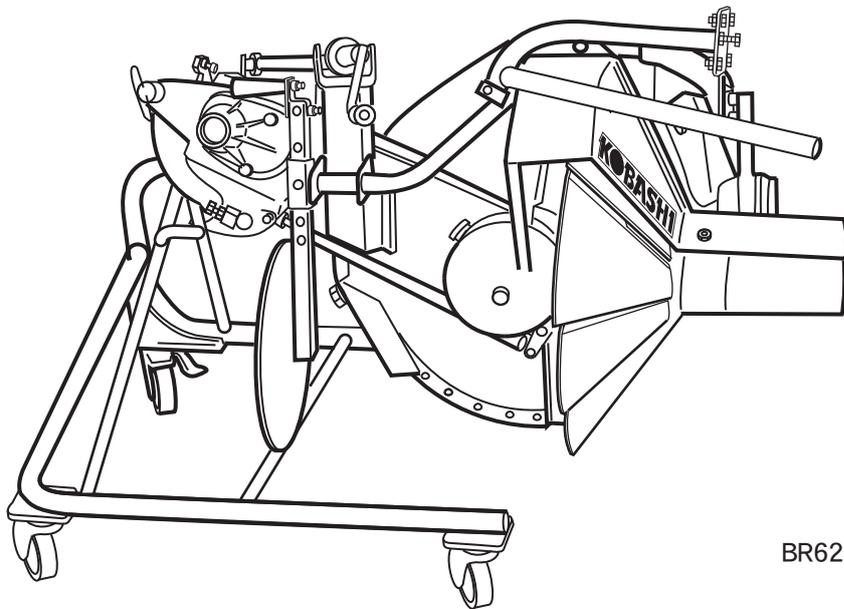
BR620DS-AS(FM)(TC)(TM)(MM)

BR620DS-S(T)(SI)

BR620DS-GB(YB)

BR620DS-1S

BR620DSL-T(TC)



BR620DS



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こす恐れがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存して下さい。

はじめに

このたびはコバシアゼローターをお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書はあぜぬり機の性能を十分に発揮させ、より安全で快適な農作業をしていただくためにも、ご使用前によくお読みいただき、正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。又、アゼローターを他の人に貸出される場合は、この取扱説明書も併せて貸出していただき、正しい取扱いをしていただくようにご指導をお願いいたします。

なお、本製品については、不断の研究成果を新しい技術としてただちに製品に取入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますが、あらかじめご了承ください。



安全作業のポイント

- ◎ 安全な作業をしていただくためには、まず機械の使い方を充分理解し、正しい取扱いをすることが基本となります。
- ◎ この取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示しています。
必ずお読みいただいて事故のない安全な作業をしてください。

⚠ 危険・・・その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告・・・その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意・・・その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示します。

取扱上の注意・・・その警告文に従わなかった場合、機械の損傷を起こす恐れのある操作を示します。

アゼローターの使用目的・使用範囲

このコバシアゼローターは水田の畦塗用作業機です。

使用目的以外の作業や改造などは、決して行なわないでください。

目 次

	ページ		ページ
▲ 安全作業するために -----	1	オフセット（上・下）操作 -----	21
1. はじめに -----	1	作業前の点検 -----	22
2. 作業の前に -----	2	1. 各部のボルト・ナットのゆるみ --	22
3. トラクターへの着脱 -----	2	2. ダブルジョイントへの	
4. 防護カバー類の取付 -----	2	グリスアップ -----	22
5. 装着時の前後バランスの確認 --	2	3. ギヤケースチェーンケース	
6. トラックへの積み・降ろし -----	3	のオイル量 -----	22
7. 一般走行 -----	3	4. 空転、暖気運転 -----	22
8. 圃場への出入り -----	4	圃場の準備 -----	23
9. 作業をしているとき -----	4	1. 圃場条件 -----	23
10. 作業中の点検 -----	5	2. 作業時の圃場水分 -----	23
11. トラクターを止めるとき ----	5	移動、圃場への出入り -----	24
12. その他 -----	5	上手な作業の仕方 -----	25
▲ 安全ラベルの取扱い -----	6~8	1. 作業前の各部の調整 -----	25
サービスと保証について -----	9	2. 作業の仕方 -----	27
各部の名称 -----	10	作業後の手入れ -----	27
アゼローターの開梱 -----	11	耕うん爪の交換 -----	28
トラクターへの装着 [2Pヒッチ] -----	12	1. 耕うん爪の種類と本数 -----	28
1. トラクターへの装着 -----	12	2. 耕うん爪の取付方法 -----	28
2. トラクターからの取外し -----	13	保守・点検 -----	29
トラクターへの装着		保管・格納 -----	30
[日農工特殊4P] -----	14	点検整備一覧表 -----	31
1. トラクターへの装着 -----	14	異常診断一覧表 -----	32
2. トラクターからの取外し -----	15	消耗部品 -----	33
トラクターへの装着 [特殊3P直装] --	17	用語解説 -----	34
1. トラクターへの装着 -----	17	主要諸元 -----	35
2. トラクターからの取外し -----	18	装着装置の種類 -----	39
トラクターへの装着 [普通3P直装] --	19		
1. トラクターへの装着 -----	19		
2. トラクターからの取外し -----	20		

⚠️ 安全に作業するために

安全に作業していただくために次のことを守ってください。
もし怠ると・・・傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります。

1 はじめに

- 1-1 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてからご使用ください。
トラクターの取扱説明書もあわせてよくお読みください。
機械の操作を知らずに使用するとたいへん危険です。
- 1-2 取扱説明書は、いつでも読めるように、機械と一緒に大切に保管してください。
- 1-3 機械を他人に貸出しされる場合は、取扱説明書も併せて貸出していただき、正しい取扱いをしていただくように、指導してください。



- 1-4 適応トラクター以外への装着の禁止
主要諸元表に適応トラクター馬力を表示していますので熟読の上、適応馬力内のトラクターに装着してください。特にトラクター馬力が小さい場合はトラクターと重量バランスが悪くなり事故の原因となります。



- 1-5 服装には注意を払いましょう
作業中の服装は、ヘルメット、丈夫な手袋、すべらない靴、キチンとした作業服を着用してください。だぶついたズボンや上着など、回転部分に巻き込まれやすい服装は、たいへん危険です。ボタンもキチンととめましょう。



- 1-6 次のような状態では運転しないでください。
- ① 飲酒運転
 - ② いねむり運転
 - ③ 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
 - ④ 若年者
 - ⑤ 妊娠中の方
- 機械の操作に十分熟練し、必要な運転免許証を携帯し、心身ともに健康な状態で運転してください。



- 1-7 共同作業がある場合は、動作ごとに合図を徹底しましょう。
- 1-8 使用目的以外の作業や、機械の改造は事故の発生、又は、機械の故障の原因となりますので、決してしないでください。

▲安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

2 作業の前に

2-1 機械の点検を

各部のボルト、ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。作業中にボルト、ナット、ピンなどが外れますと、作業機やトラクターの破損の原因及び事故の原因となります。



3 トラクターへの着脱

3-1 作業機の着脱及び調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行いましょう。特に夜間の作業機の着脱は、安全で適切な照明を用いる等、安全に留意して行ってください。

3-2 トラクターに作業機を装着する場合には、トラクターと作業機の間に入らないように注意してください。



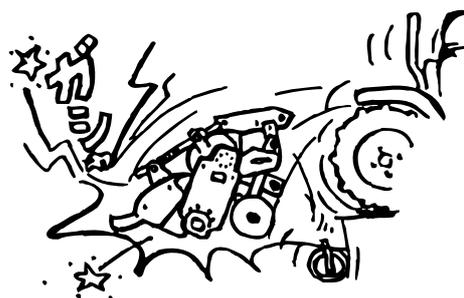
3-3 トラクターと作業機の着脱に際しては、いつでも逃げられる安全な態勢で操作し、トラクターは必ずブレーキで止めておいてください。

3-4 二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図をしましょう。

3-5 ジョイントのノックピンが、確実にPTO軸溝に、又作業機入力軸溝にはまっているか確認してください。



3-6 取付各部のトメピンが全て確実に装着されているか確認してください。



4 防護カバー類の取付け

4-1 ジョイントをはじめ、作業機のセフティカバー、防護カバー類は必ず取付けてください。

5 装着時の前後バランスの確認

5-1 作業機とトラクターとのバランスの確認
作業機を装着すると機体の長さや幅が大きくなり、重量バランスが変わります。トラクターの前輪が20%以上の重量比率になるように、フロントウエイトを取付けてください。なお、作業機に泥が付着して、重くなる場合もありますので注意してください。又、アタッチメント等を取付けて使用される場合もバランスの確認を行い、フロントウエイトを取付けてください。



▲安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

5-2 作業機に他のアタッチメントを取付ける場合は、事前に必ずアタッチメントの取扱説明書を良く読んでください。

6 トラックへの積み・降ろし

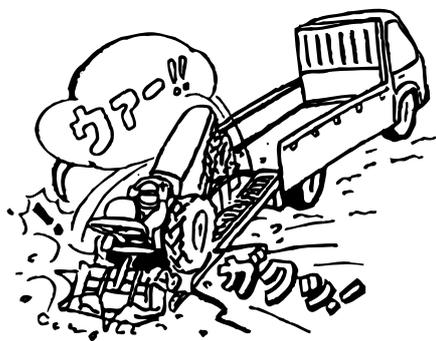
6-1 積み・降ろしの場所は平坦で安全なところを選びましょう。

6-2 すべり止めをした丈夫なアユミ板を確実に固定してください。傾斜角度、平行度を確認してください。

6-3 トラックは動かないようにしっかりとサイドブレーキをかけてください。

6-4 トラクターの左右のブレーキペダルを連結し、脱輪ないように注意してください。又途中でクラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。低速で積み・降ろしをしてください。

6-5 作業機を装着しての積み・降ろしはトラクターの重量バランスが変わります。泥の付着等もあり、十分注意して行ってください。



6-6 折りたためる作業機は折りたたみ、エクステンションレバーもたたみ、トラックの荷台よりはみ出さないように注意し、強度が十分あるロープで確実に固定してください。

7 一般走行

7-1 トラクターは作業機を装着して公道を走行できません。

(道路運送車両の保安基準)

作業機を装着して走行すると、他の車や電柱などに引っかけて事故の原因になります。



7-2 トラクター・作業機には運転者以外の人を乗せないでください。



7-3 左右のブレーキペダルを連結して走行してください。



7-4 作業機の回転を止めて走行してください。

7-5 作業機の落下防止装置を必ず使用して走行してください。

7-6 必要以上の高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回をしないでください。

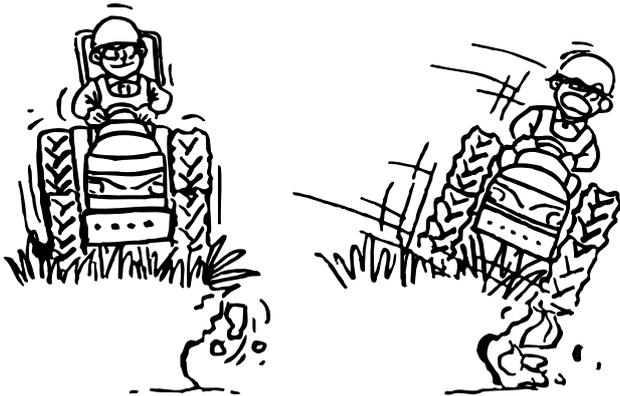
7-7 旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。

▲安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります



7-8 作業機は左右がトラクターの機体幅より広い
ため、走行時は十分注意してください。移動時
は作業機の折りたたむための箇所は折りたたみ走
行してください。又スタンドがついている場
合も必ず外してください。

7-9 路肩に草が茂っている所を走行するときは特
に路肩の強度に気を付けてください。



7-10 坂道では、クラッチを切ったり、変速を中立に
しないでください。

7-11 坂道では、スピードを落とし、低速で走行して
ください。

7-12 坂道では、エンジンブレーキを使用し、急ブ
レーキをかけないでください。

8 圃場への出入り

8-1 圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げて、
うねや段差に対して直角に進んでください。

8-2 圃場から出るときは、傾斜しているうねは
バックで上るか、又は丈夫なアユミ板を使用
してください。



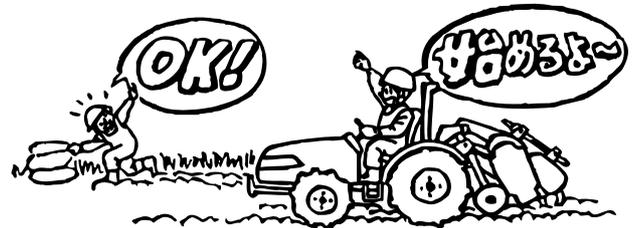
8-3 うねや段差に対して斜め方向に進むと、横滑り
や転倒する危険があります。作業機を低くして
重心を下げ、直角に進めてください。

9 作業をしているとき

9-1 いねむり運転、わき見運転をしないようにあら
かじめ体調を整えてください。

9-2 回転部分等、動く所には触れないでください。

9-3 作業中は、まわりに人を近寄らせないでくださ
い。特に子供には十分注意してください。補助
作業員がある場合は、動作ごとに合図をかわし
てください。

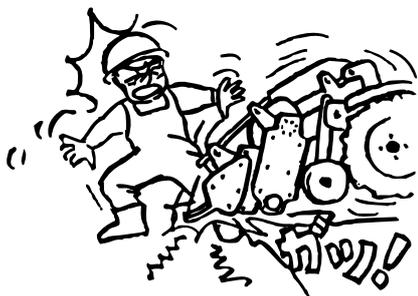


9-4 運転者が運転位置をはなれて作業機を調整す
る場合、又、爪軸等への、草やワラのからみ付
きを取りのぞく場合等は、必ずトラクターの
駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、
かつ、PTO軸への動力の伝導が絶たれている
ことを確認した上で行ってください。



▲安全作業をもし怠ると傷害事故又は人身事故を引き起こすことがあります

- 9-5 作業機の下にもぐったり、足をふみこんだりしないでください。



- 9-6 作業機のカバーは、土礫が飛散ないように調節してください。



- 9-7 ぬかるみにはまっても作業機は絶対に外さないで、他の車に引き上げてもらってください。牽引点は低くしてください。

10 作業中の点検

- 10-1 作業機の点検を行うときは、トラクターの駐車ブレーキをかけ、又、エンジンを停止し、かつ、PTO軸への動力の伝導が絶たれていることを確認した上で行ってください。又、油圧ロックも必ず行ってください。



- 10-2 点検のために外した安全カバーは、必ず元の通りに取付けてください。



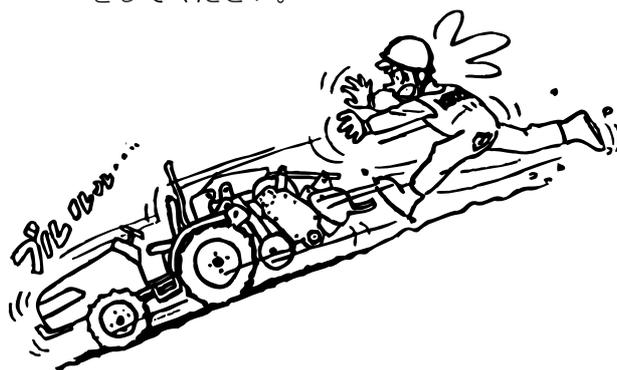
- 10-3 ラジエーター、マフラーは高温になりますので、注意してください。

- 10-4 点検整備に必要な工具類は、適切な管理を行い、正しい使用をしてください。

11 トラクターを止めるとき

- 11-1 平らな場所に止めてから、作業機を降ろしてエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。

- 11-2 傾斜地に止める場合は、タイヤに必ず車止めをしてください。



12 その他

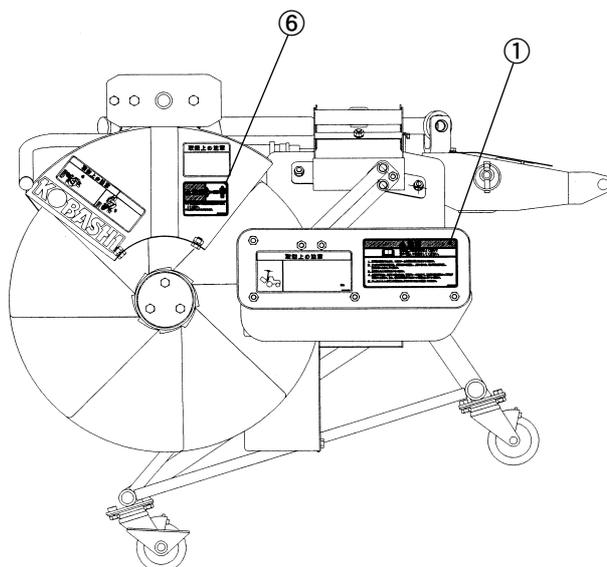
- 12-1 作業機指定のPTO回転数を守ってください。低速回転用の作業機を高速回転で使用すると作業機が異常作動し危険です。

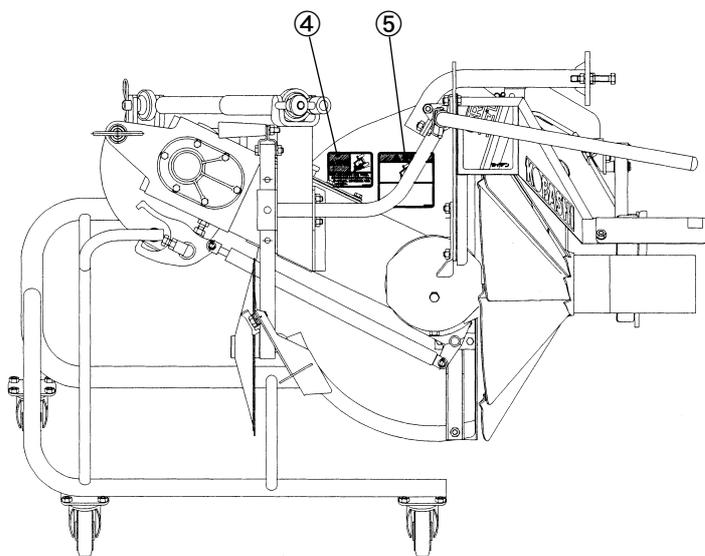
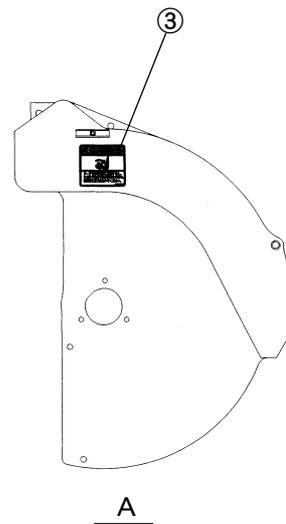
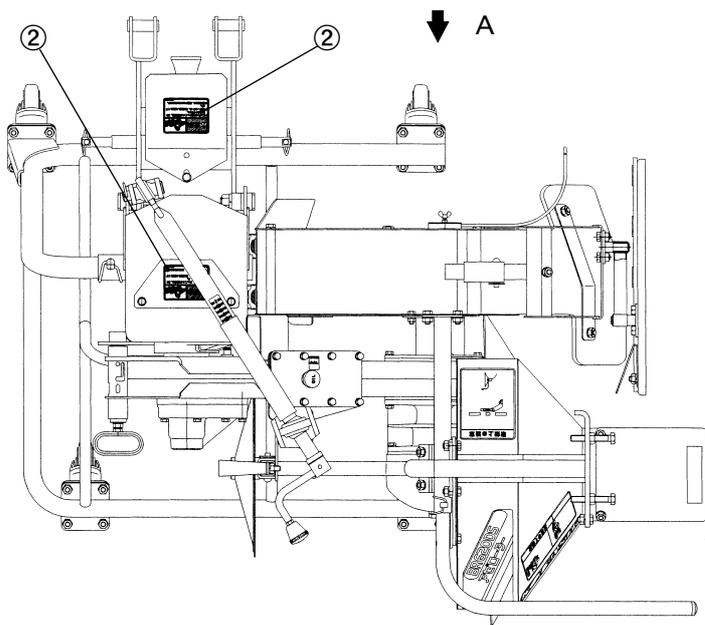
- 12-2 トラクターのエンジン始動時は、作業機が下がっていることを確認してください。作業機が不意に下がることもあり危険です。

安全ラベルの取扱い

- ① いつも汚れや泥をとり警告がハッキリと見えるようにしてください。
- ② 安全ラベルが損傷したり破損した時は、新しいものと交換してください。
- ③ 安全ラベルを貼ってある部品を交換した時は、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に安全ラベルを貼ってください。

コバシアゼローターには、次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

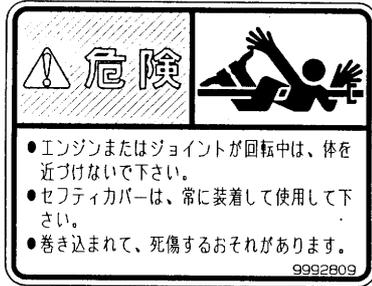




① コードNo.9992087

▲ 注意	
	使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業機を着脱するときは、トラクターと作業機の間立たないでください。 2. エンジン始動時や作業中は、周囲の安全を確認し、人がいないか、特に子供には注意し、近づけないようにしてください。 3. 作業機の上に入を乗せないでください。 4. 点検整備時には、必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、油圧降下防止用ストップバルブを締めてください。また、絶対に作業機の下にはいつて作業をしないでください。 5. ジョイントのノックピンが確実にロックされていることを確認してください。 	
<small>9992087</small>	

② コードNo.9992809



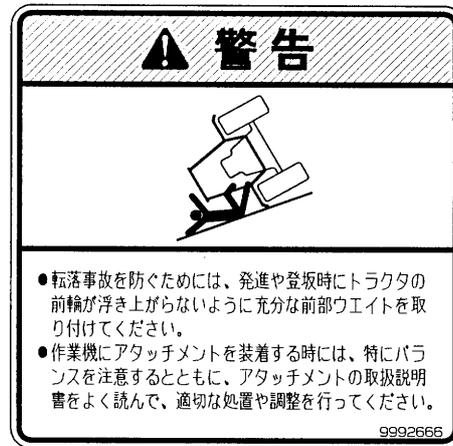
③ コードNo.9992074



④ コードNo.9992808



⑤ コードNo.9992666



⑥ コードNo.9993280



サービスと保証について

① 保証書について

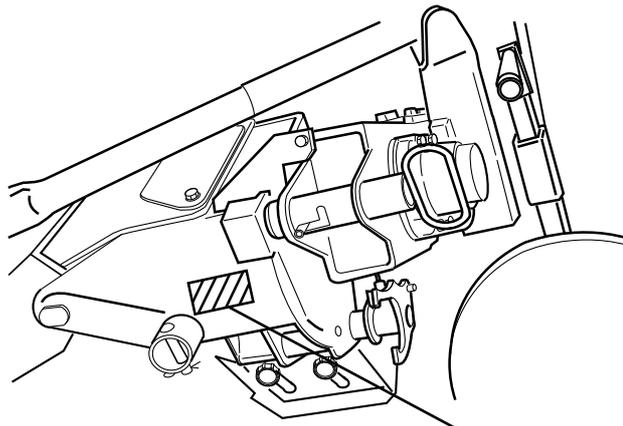
コバシアゼローターには保証書が添付してあります。保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。保証内容は保証書をご覧ください。お読みになった後は大切に保管してください。

② アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置してもなお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げ頂いた販売店、農協、弊社営業所までご連絡ください。

その際

- 機械の型式名と製造機械番号
- ご使用状況（作業速度、回転数はいくらで、どんな作業をしていたときに）
- どのくらい使用されましたか（約〇〇アール・約〇〇時間使用后）
- 不具合が発生した時の状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



製造機械番号

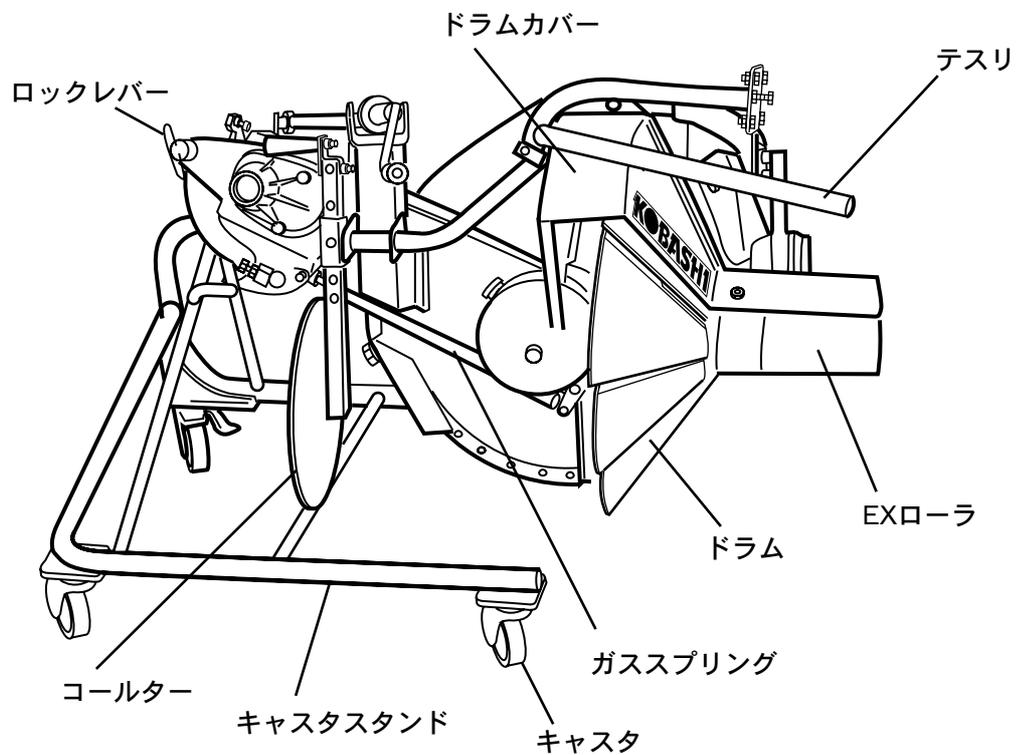
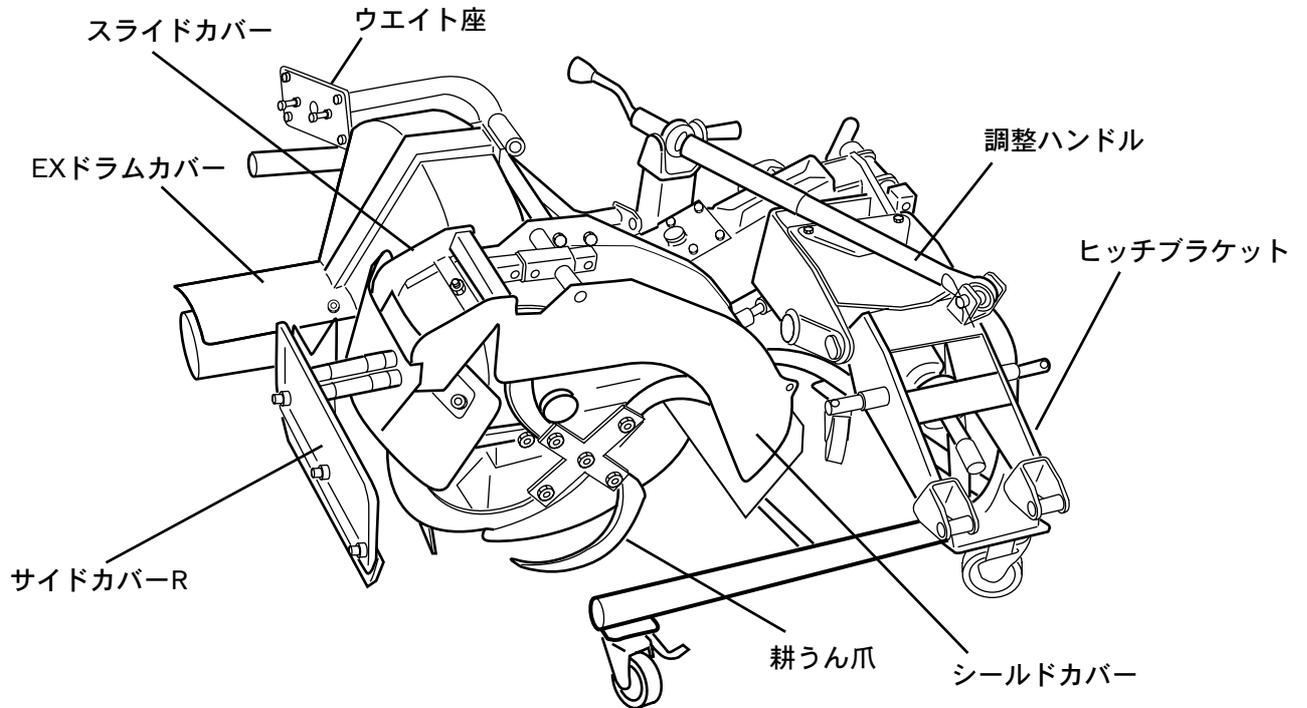
■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後 9年といたします。従いまして、その後のご注文に対しては、在庫限りの供給とさせていただきますので、ご了解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■ 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

各部の名称



アゼローターの開梱

1. 開 梱

アゼローターは、木枠梱包されていますので開梱してください。

▲注意

木枠梱包には、スクリュウクギが使用されています。クギの踏み抜きしないように注意して開梱してください。

標準装備品

部品名	数量	備 考
キャストスタンド	1	
ヒッチブラケット	1	
取扱説明書	1	

トラクターへの装着 (2Pヒッチ)

アゼローターはお持ちの純正ロータリと同様の手順でトラクターへの装着が可能です。純正ロータリの取扱説明書をご確認ください。

① トラクターへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行なってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクターと作業機の間には人が入らないように注意してください。
4. 二人作業の場合はお互いに合図しあい注意して作業してください。

1. トラクターの準備

トラクターに装着されているロータリを取り外してください。尚、ロータリを外した状態でアゼローターの装着が可能です。又、アゼローターの装着要領はロータリを取り外した逆の手順で装着をします。

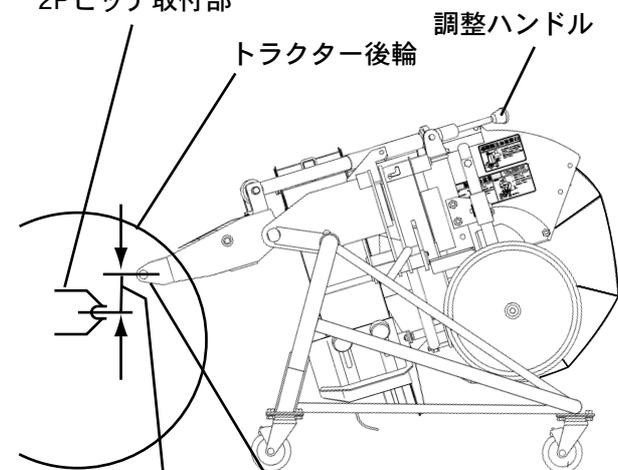
2. アゼローターの準備

アゼローターを作業時の位置にしてください。(出荷時の状態)次にアゼローターの脱着を容易にするため、アゼローターの左側からキャストスタンドを取付けてください。

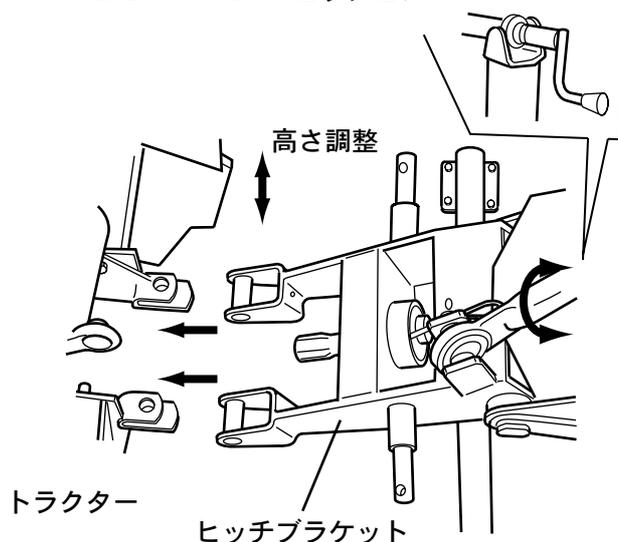
3. トラクターへの装着

- ① トラクター側 2Pヒッチ取付部とアゼローター 2Pヒッチピンの高さが一致するように、調整ハンドルにより調整してください。
- ② トラクター及びロータリの仕様により、装着手順が異なります。お手持ちのトラクター及びロータリの取扱説明書に従って装着してください。
- ③ 装着後にキャストスタンドを取り外してください。

トラクター側
2Pヒッチ取付部



高さを合わせる 作業機側2Pヒッチピン 調整ハンドル



▲ 危険

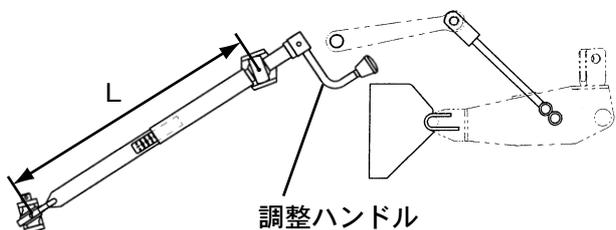
セフティーカバーを外した状態で使用すると死傷することがあります。必ず取付けた状態で使用してください。

⚠ 注意

1. 装着時にはアゼローターはゆっくり上げながら、トラクターとアゼローターが干渉しないか確認してください。特にキャビン付きトラクターの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクターによっては、スイッチONで自動的に最上部までに上昇する機械がありますが、必ず手で干渉の有無を確認してから使用してください。
又、アゼローターが勢いよく上がるためトラクターキャビン最後部と10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. 左右の水平前後傾斜度もチェックの上規定の寸法にしてください。

4. 作業姿勢の調整

調整ハンドルの長さ(L)を調節し、作業姿勢を確認してください、標準作業姿勢は、シールドカバーが地面に対して垂直となる位置です。尚、調整ハンドルの長さを縮めた状態で油圧を上げた場合、トラクターによっては、作業機がトラクターに干渉する恐れがありますので十分に注意してください。



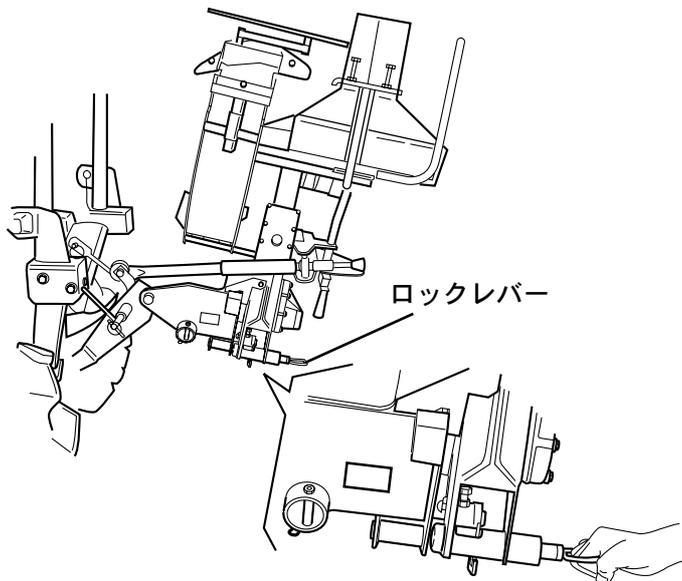
② トラクターからの取り外し

⚠ 注意

アゼローターを取り外す場合は平坦で地盤のしっかりした所で、装着のためのスペースが十分とれる所で行なってください。

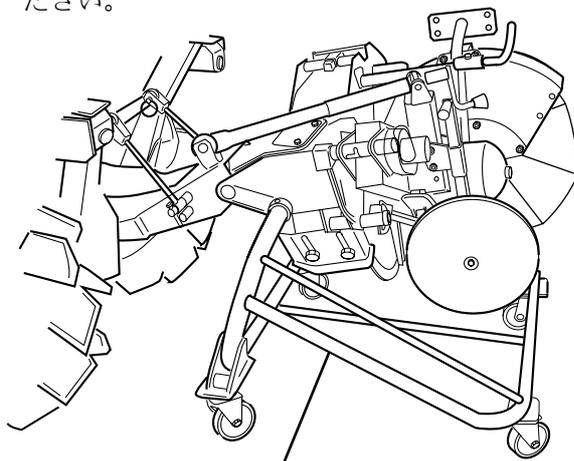
1. アゼローターの取り外し準備

アゼローターを作業時の状態にしてください。



2. キャスタスタンドの取付け

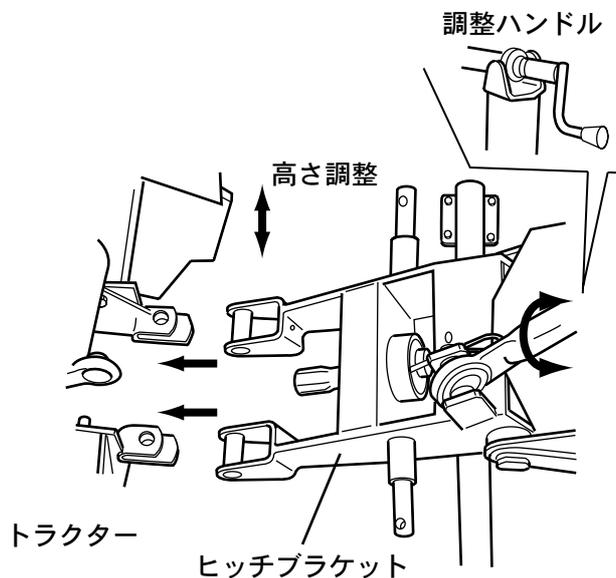
トラクターから取外す前に、アゼローターの左側よりキャスタスタンドを取付けてください。



キャスタスタンド

3. アゼローターを取り外します。

調整ハンドルでヒッチブラケットの高さを合わせてください。後は、純正ロータリの取扱説明書と同様の手順で取外して下さい。



トラクターへの装着〔日農工特殊4P〕

アゼローターはお持ちの純正ロータリと同様の手順でトラクターへの装着が可能です。純正ロータリの取扱説明書をご確認ください。

① トラクターへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクターと作業機の間には人が入らないよう注意してください。
4. 二人作業の場合は互いに合図しあって作業してください。

1 トラクターの準備

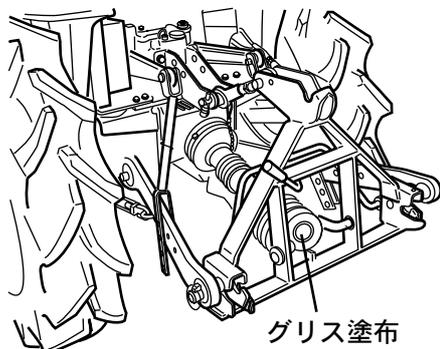
1. オートヒッチの取付け

ロアーリンク、リフトロッドは純正のロータリと同じ取付位置で装着できますので、ロータリを外し、そのまま本作業機の着脱ができます。

2. ロックレバーを装着位置に

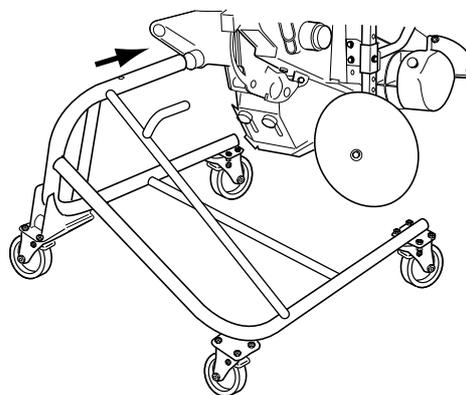
オートヒッチのロックレバーを手前に引き、ヒッチピンのフックを閉じた状態にしてください。

4P仕様の場合は、装着前に作業機の入力軸とジョイント結合部に十分グリスを塗布してください。



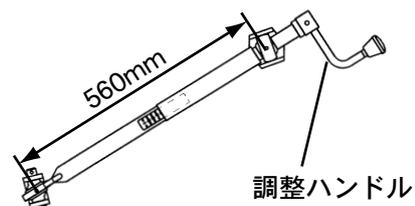
2. アゼローターの準備

アゼローターを作業時の位置にしてください。
(出荷時の状態) 次にアゼローターの脱着を容易にするため、アゼローターの左側からキャストスタンドを取付けてください。



3. アゼローターを装着姿勢に

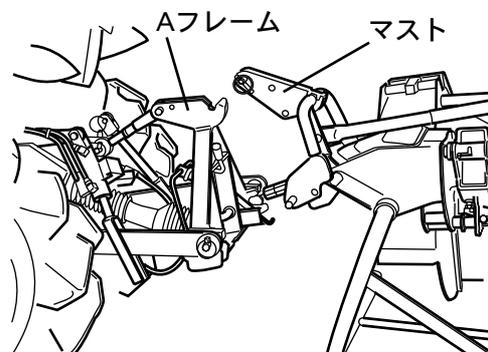
調整ハンドルの長さを560mm (メモリ6) にセットしてください。



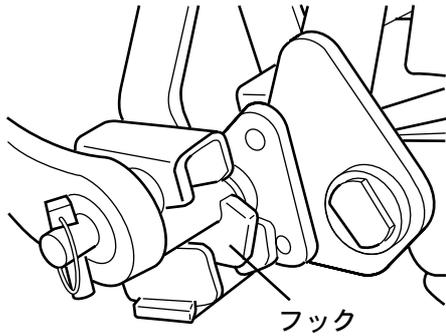
4. 装着

オートヒッチのトップリンクホルダ部と作業機のマスト先端を合わせ、ゆっくりバックし、ポジションコントロールレバーを「上げ」位置にして、作業機のマスト先端をすくい上げます。

- ① 中心を合わせバックします。
- ② リフトアップしてマストをすくい上げます。



- ③ ロックレバーを確実にロックします。ロックレバーは装着されると前後に動き、自動的にロック状態になります。作業機のヒッチピン(左右)フックが確実にかかっていることを確認してください。

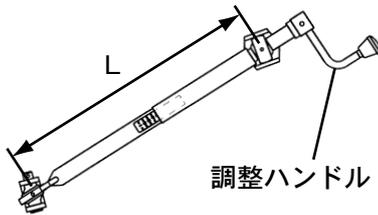


▲ 注意

作業が終わって作業機を取り外すまでは、レバーはぜったいに手をふれないでください。
ロックが解除し作業機が外れます。

5. 作業姿勢の調整

調整ハンドルの長さ(L)を調節し、作業姿勢を確認してください、標準作業姿勢は、シールドカバーが地面に対して垂直となる位置です。尚、調整ハンドルの長さを縮めた状態で油圧を上げた場合、トラクターによっては、作業機がトラクターに干渉する恐れがありますので十分に注意してください。



取扱上の注意

1. 最初の装着時には、油圧をゆっくりあげながら、トラクターと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクターの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクターによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. トップリンクやロアーリンクの取付穴位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
4. 左右の水平調節についても注意してください。

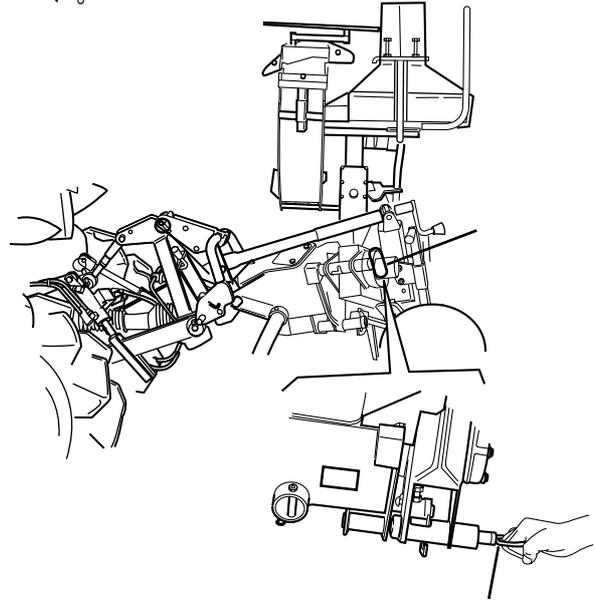
② トラクターからの取外し

▲ 注意

作業機を外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、装着のためのスペースが十分とれるところで行ってください。

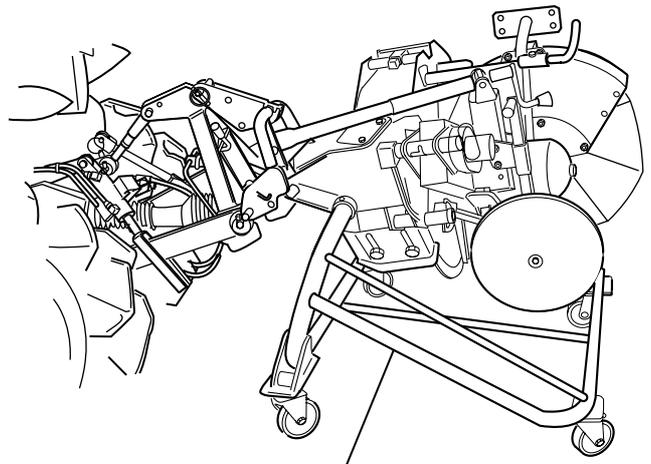
1. アゼローターの取り外し準備

アゼローターを作業時の状態にしてください。



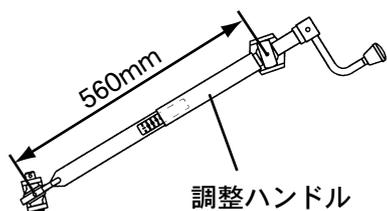
2. キャスタスタンドの取付け

トラクターから取外す前に、アゼローターの左側よりキャスタスタンドを取付けてください。



3. アゼローターを脱着姿勢に

調整ハンドルの長さを560mm（メモリ6）にセットしてください。



4. ジョイントの取外し（オートヒッチのみの場合）

5. ロックの解除

作業機を持ち上げ、ロックレバーを後方へ押し倒します。

6. 作業機を下げる

ポジションコントロールレバーを「下げる」にして、作業機を下げるとローフック部は外れます。次にポジションコントロールレバーを下げながらトラクターをゆっくり前進させると作業機は外れます。

※はずれない場合は、場所が平坦でないとか、トラクターがまっすぐ前進していないなどの原因がありますので、再度、動作をやり直してください。

トラクターへの装着〔特3P直装〕

アゼローターはお手持ちの純正ロータリと同様の手順でトラクターへの装着が可能です。純正ロータリの取扱い説明書をご確認ください。

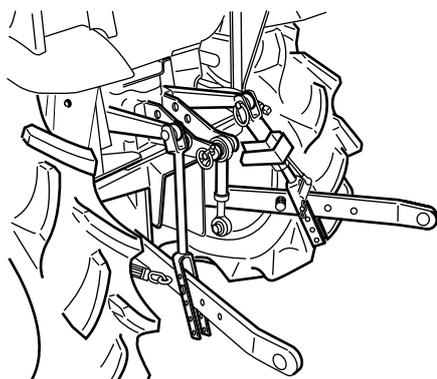
① トラクターへの装着

▲ 注意

1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクターと作業機の間には人が入らないよう注意してください。
4. 二人作業の場合は互いに合図しあって作業してください。

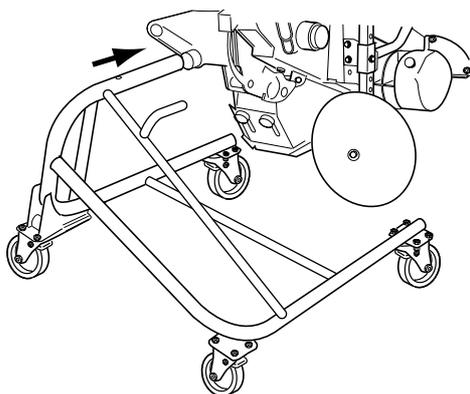
1. トラクターの準備

トラクターは、純正ロータリを外したままの状態で作業機の装着が可能です。



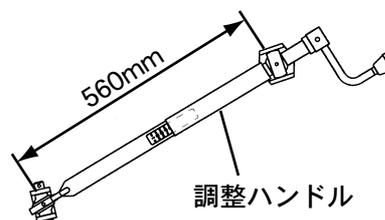
2. アゼローターの準備

アゼローターを作業時の位置にしてください。
(出荷時の状態) 次にアゼローターの脱着を容易にするため、アゼローターの左側からキャストスタンドを取付けてください。



3. アゼローターを装着姿勢に

調整ハンドルの長さを560mm (メモリ6) にセットしてください。



4. 装着

トラクターにより、装着順が異なります。お手持ちのトラクター及び純正ロータリの取扱い説明書に従って装着してください。

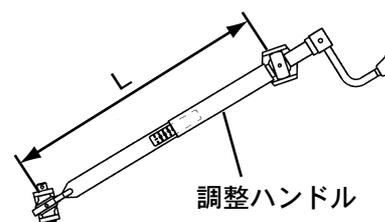
1. ロアーリンクを取付けてください。
2. トップリンクを取付けてください。
3. ジョイントを取付けてください。

▲ 危険

セフティカバーを取外して使用すると、死傷することがありますので、必ず取付けたままで使用してください。

5. 作業姿勢の調整

トラクタに装着する場合の目安としてください。



▲ 注意

1. 最初の装着時には、油圧をゆっくりあげながら、トラクターと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクターの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクターによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. トップリンクやロアーリンクの取付穴位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
4. 左右の水平調節についても注意してください。

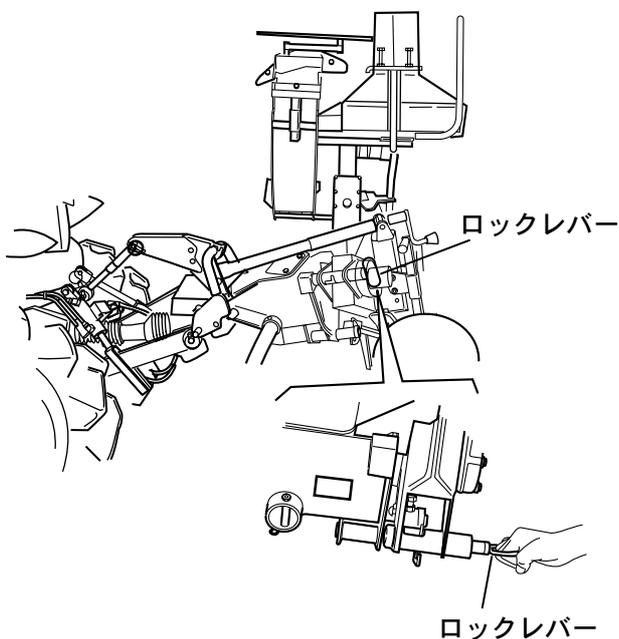
② トラクターからの取外し

▲ 注意

作業機を外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、装着のためのスペースが十分とれるところで行ってください。

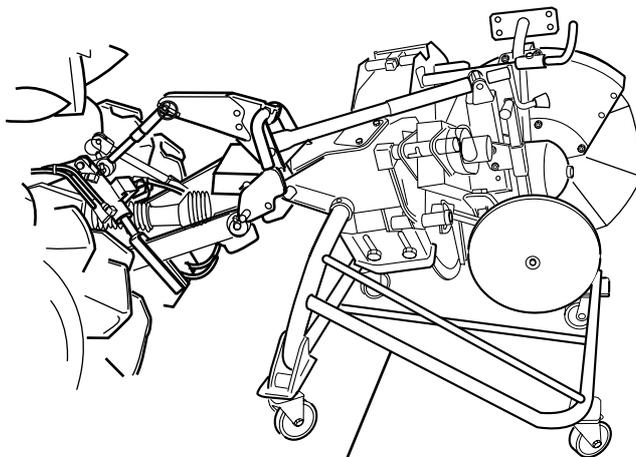
1. アゼローターの取り外し準備

アゼローターを作業時の状態にしてください。



2. キャスタスタンドの取付け

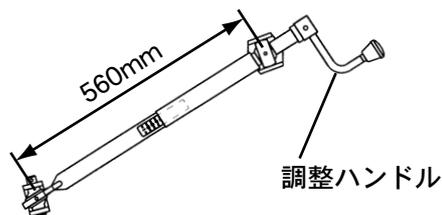
トラクターから取外す前に、アゼローターの左側よりキャスタスタンドを取付けてください。



キャスタスタンド

3. アゼローターを脱着姿勢に

調整ハンドルの長さを560mm（メモリ6）にセットしてください。



4. ジョイントを取外してください。
5. トップリンクを外してください。
6. ロアーリンクを外してください。

※はずれない場合は、場所が平坦でないとか、トラクターがまっすぐ前進していないなどの原因がありますので、再度、動作をやり直してください。

トラクターへの装着（普通3P直装）

アゼローターはお持ちの純正ロータリと同様の手順でトラクターへの装着が可能です。純正ロータリの取扱説明書をご確認ください。

① トラクターへの装着

▲ 注意

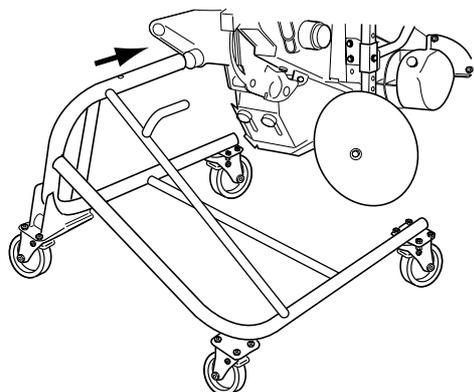
1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行なってください。
2. 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
3. トラクターと作業機の間には人が入らないように注意してください。
4. 二人作業の場合はお互いに合図しあい注意して作業してください。

1. トラクターの準備

トラクターに装着されているロータリを取り外してください。尚、ロータリを外した状態でアゼローターの装着が可能です。又、アゼローターの装着要領はロータリを取り外した逆の手順で装着をします。

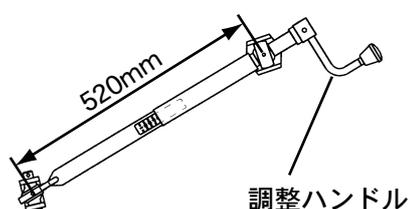
2. アゼローターの準備

アゼローターを作業時の位置にしてください。（出荷時の状態）次にアゼローターの脱着を容易にするため、アゼローターの左側からキャストスタンドを取付けてください。



3. アゼローターを装着姿勢に

調整ハンドルの長さを520mm（メモリ2）にセットしてください。



4. 装着

トラクターにより、装着順が異なります。お手持ちのトラクター及び純正ロータリーの取扱説明書に従って装着してください。

1. ロアーリンクを取付けてください。
2. トップリンクを取付けてください。
3. ジョイントを取付けてください。

▲ 危険

セフティカバーを取外して使用すると、死傷することがありますので、必ず取付けたままで使用してください。

5. 作業姿勢の調整

トップリンクの伸縮により、作業姿勢を調整してください。

基本的には入力軸が地面に対して水平となる位置です。

▲ 注意

1. 最初の装着時には、油圧をゆっくりあげながら、トラクターと作業機が干渉しないか確認してください。特に、キャビン付きトラクターの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
2. トラクターによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。又、作業機が勢いよく上がるため10cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
3. トップリンクやロアーリンクの取付穴位置、及びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも干渉の有無を確認してください。
4. 左右の水平調節についても注意してください。

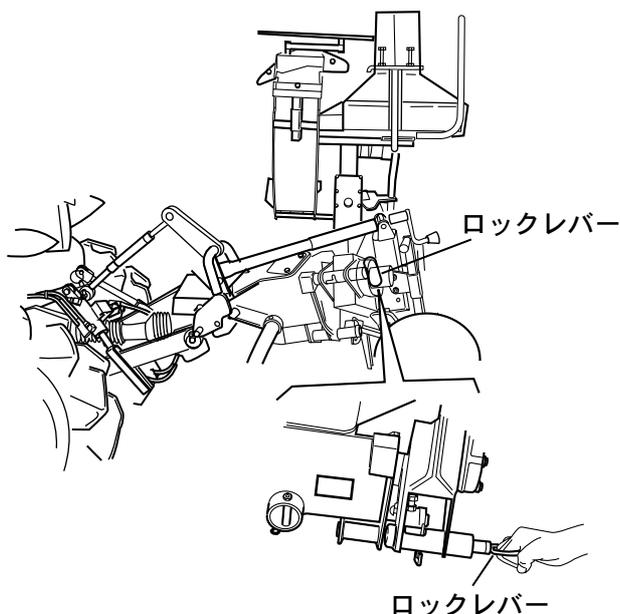
②トラクターからの取り外し

▲ 注意

作業機を外す場合は、平坦で地盤のしっかりした所で、装着のためのスペースが十分とれるところで行ってください。

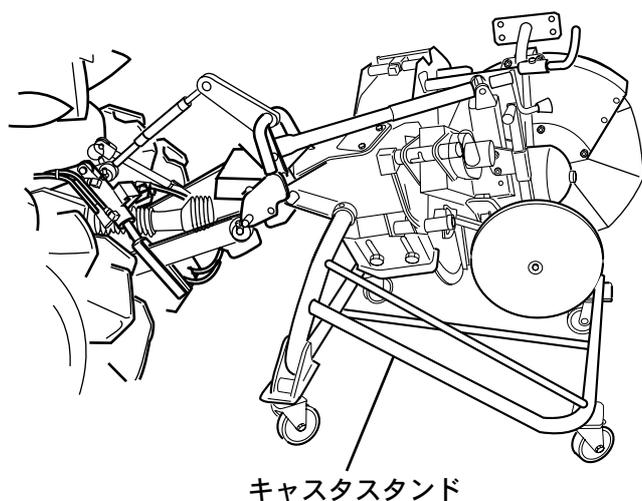
1. アゼローターの取り外し準備

アゼローターを作業時の状態にしてください。



2. キャスタスタンドの取付け

トラクターから取外す前に、アゼローターの左側よりキャスタスタンドを取付けてください。



3. ジョイントを取外してください。

4. トップリンクを外してください。

5. ロアーリンクを外してください。

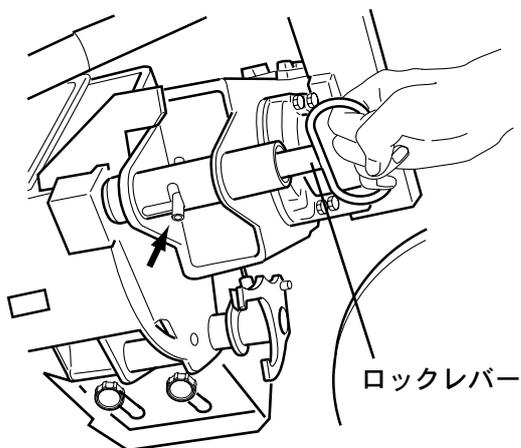
※はずれない場合は、場所が平坦でないとか、トラクターがまっすぐ前進していないなどの原因がありますので、再度、動作をやり直してください。

オフセット（上・下）操作

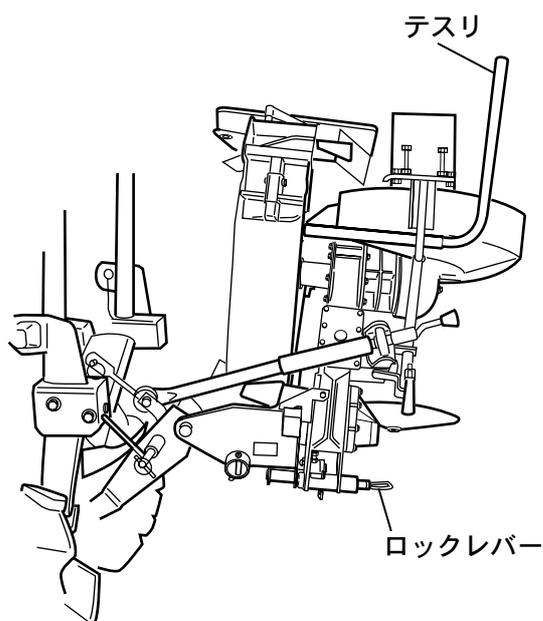
オフセット（上・下）操作は、ロックレバーのON、OFFにより移動時のオフセット（上）操作と作業時のオフセット（下）操作が行なえます。

1. 移動時

1. 作業時の状態からロックレバーを手前に引っ張り固定します。



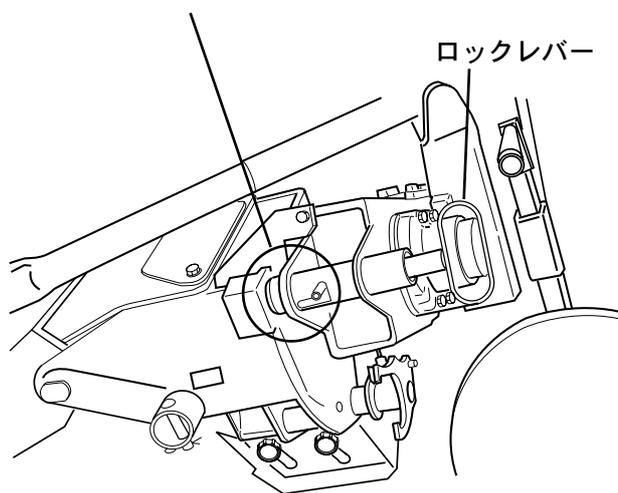
2. テスリを持ってアゼローターが垂直になるまで持ち上げてください。（自動ロックされ、同時にクラッチも切れます。）



2. 作業時

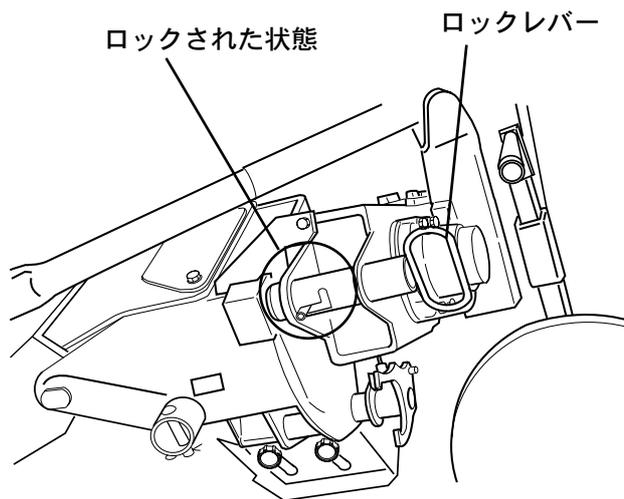
1. アゼローターのロックレバーを手前に引っ張り固定してください。

ロックレバーを解除する



2. テスリを握りアゼローターがロックされるまで降ろしてください。

ロックされた状態



作業前の点検

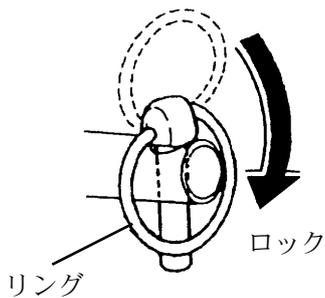
アゼローターの機能を発揮させるため、又、故障を未然に防ぐには、機械の状態を常に把握していることが大切です。下記の始業点検は毎日欠かさず行なってください。

⚠ 注意

1. 点検は平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行なってください。
2. トラクターのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてから行なってください。
3. 作業機は地面におろしてから行なってください。作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、油圧をロックし、落下防止をするとともに、台などを耕うん軸の下に置き、作業機が絶対落下しないようにしてから行なってください。

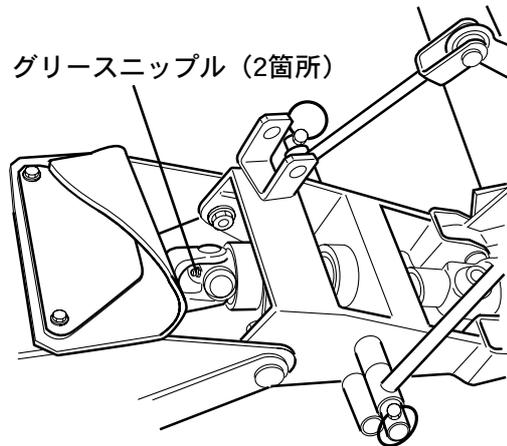
① 各部のボルト・ナットのゆるみ

各部のボルト・ナット類に緩みはないか、点検してください。特に耕うん爪取付けボルトは緩み易いので点検が必要です。尚、新品の場合は使用1時間で点検を行なってください。又、ピン類も全てそろっていることを確認してください。又、リンチピンのリンクが確実にロックされていることを確認してください。



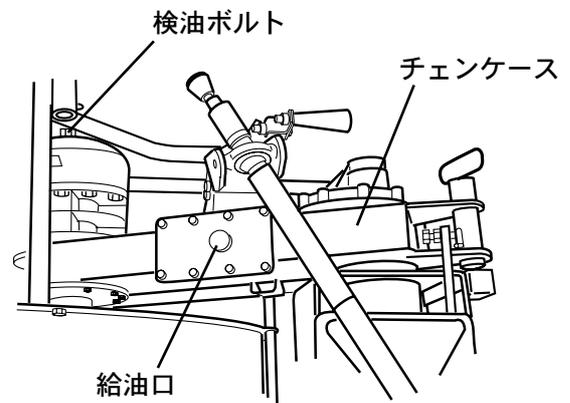
② ダブルジョイントへのグリスアップ

作業機側のダブルジョイント（2箇所）にグリスアップしてください。



③ ギヤークースのオイル量

- ① ギヤークースの後部に検油プラグがあります。プラグを緩めて検油確認をしてください。油量位置よりギヤオイルが不足している場合は補給してください。（ギヤオイル #90、2.0ℓ）
- ② オイル量の点検は作業時の状態にしてアゼローターを水平にして検油をしてください。



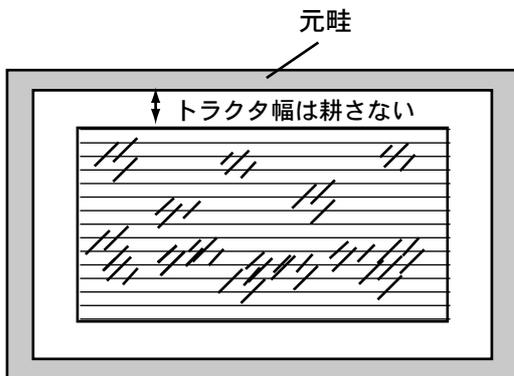
④ 空転、暖機運転

作業前には空転させ、各部より異音が発生していないか確認してください。暖機運転は5～10分行なってください。

圃場の準備

① 圃場条件

1. 仕上がりの良い畦を築くため、畦草、飛散ワラを取り除いてください。又、石等の障害物は機械の破損、故障の原因となりますので、取り除いてください。
2. 畦の雑草や田んぼの雑草、ワラ、石などではできるだけ取り除いてください。
3. あぜぬり前に田んぼは耕うんをしないこと。耕うんするとトラクターが沈み直進性が悪くなります。又、土量が減り堅畦が出来にくくなります。（耕うんする場合はトラクター幅は残して耕うんしてください。）



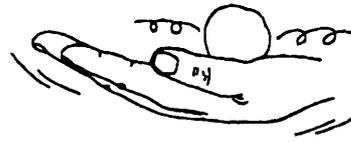
② 作業時の圃場水分

アゼローターの性能は、圃場水分の影響を大きく受けます。最適な圃場条件を選び作業にしてください。

1. 仕上がり良く、堅畦を築くには、田んぼの水分が大きく左右されます。その状態の目安は、
 - ① トラクターの車輪後が付く。
 - ② トラクターのタイヤが約5cm程沈む。
 - ③ 土を丸めて手のひらで転がしても崩れない。



土を握って土塊をつくる



手のひらでころがしても崩れない程度

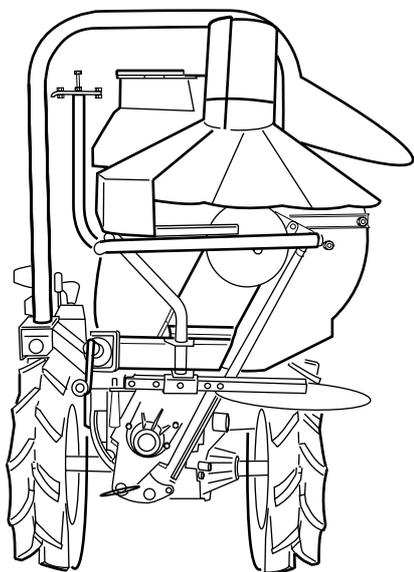
2. 圃場に水が溜まっている状態では良いあぜぬりはできません。適度の湿りになるまで乾かしてから作業を行なってください。
3. 畦を築いた後で雨が降ると畦が柔らかくなり崩れる恐れがありますのであぜぬりを行なう際は天候に十分注意してあぜぬりをしてください。
4. トラクターの車輪が10cm以上沈む圃場では、作業をしないでください。
5. 乾いた圃場では、雨上がりに作業してください。

* 重粘土質で水分の多い圃場、また極度の砂質ではあぜぬりは難しいので注意して作業をしてください。

移動、圃場への出入り

▲ 警告

1. 移動の際は必ずアゼローターをトラクターの中央にセットしてください。（オフセット上操作）



2. 移動の際はアゼローターを持ち上げ、油圧ロックをし、左右のブレーキを連結し、チェックチェーンも確実に張れているか確認してください。
3. トラックへの積み込み、急な坂では、トラクターの前輪が浮き上がるとハンドルがきかず、危険です。フロントウエイトを着けてアゼローターを下げて登ってください。
4. 前後、左右に気を配り、安全を確認しながら走行してください。高速運転、急速発進、急ブレーキ、急旋回はしないでください。
5. 圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げ、畦や段差に対して直角に進んでください。畦が高い時は、丈夫で滑り止めのあるアユミ板を使用し、傾斜角が14度以下になるようにしてください。
6. 溝のある農道や両側が傾斜している農道を通るときは路肩に注意してください。

▲ 注意

1. 圃場に入るときは、必ず前進、低速で畦や段差に対して直角に進んでください。
2. 傾斜している圃場から出るときはバックで上るか、丈夫なアユミ板を使用してください。
3. 畦や段差に対して斜めの方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。アゼローターを低くして重心を下げ、直角に進んでください。
4. アゼローターを下げて前進しますと前輪が浮き上がりにくくなります。常に前・後輪のバランスを考えながら移動、圃場への出入りに注意しながらトラクター操作をしてください。
5. 移動時（オフセット上）にはトラクターのPTOを「切り」Nにして作業機の回転を止めて走行してください。

上手な作業の仕方

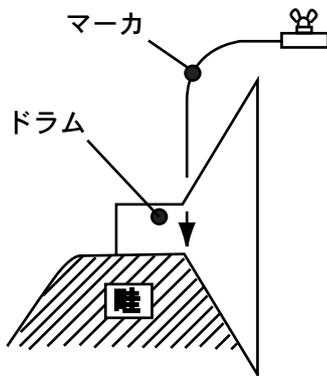
① 作業前の各部の調整

畦の仕上がり状態は、畦の土の状態によって異なりますので、以下の要領で各部の調整を行なってください。

1. アゼローターのセット

- ① トラクターが元畦と平行かつマーカが元畦のコーナーにくる位置にトラクターを配置します。

マーカを下図の位置に合せてください。同じ畦が作られます。



- ② PTOを回転させながら、ポジションコントロールレバーで耕うん深さまでゆっくり下げて試運転します。(PTO:1速、車速0.5km/h前後、耕深10cm前後)

⚠ 警告

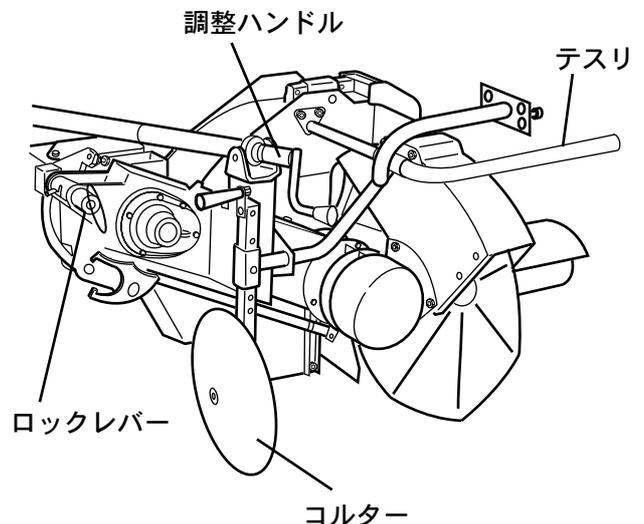
1. 運転中は危険ですから、トラクター及びアゼローターの周囲には、補助作業員や、他の人を近づけないようにしてください。
2. アゼローターを調整、整備する場合や、爪軸等への草、ワラのからみ付きを取り除く場合は必ず、トラクターの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、PTO軸への動力の伝達が切れていることを確認した上で行なってください。
3. 傾斜地での急旋回は転倒の危険があります。ゆっくりと注意して行ってください。

取扱上の注意

1. 逆転での作業はしないでください。
2. 土地条件に応じた作業速度、PTO軸回転数、深さを選んでください。尚、石の多い圃場では、作業速度は遅くし、PTO軸回転数も下げて使用してください。

2. 作業深さの調整

- ① 作業深さの調整は、調整ハンドル及びコルターで行います。

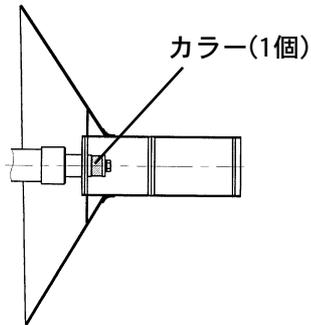


⚠ 注意

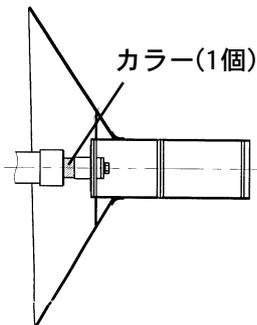
ドラムには素手や素肌が直接触れないようにしてください。作業をされる場合は丈夫な手袋を着用して行ってください。

3. ドラム取付幅の調整

① 工場出荷時は、下記の位置に取付けています。



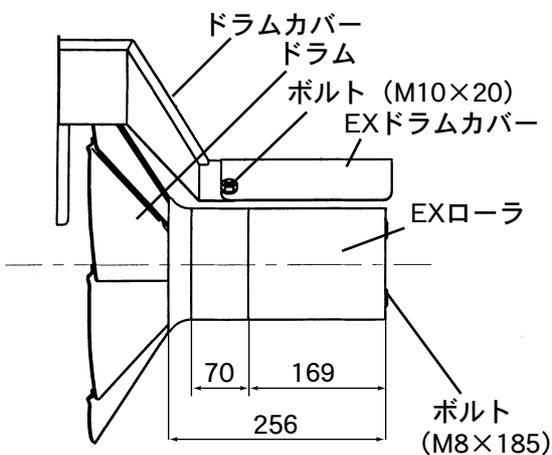
② 新畦の厚さを変える場合は、下記のようにカラーを調節します。



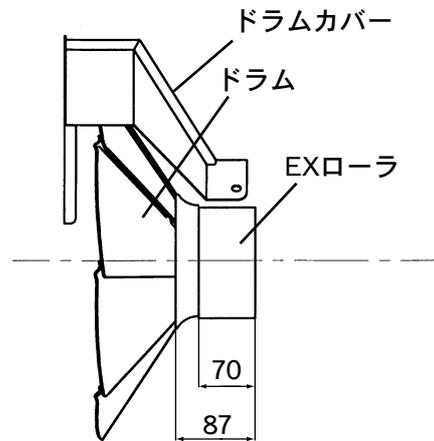
4. EXローラの調整

畦の幅に合わせてEXローラの幅が調整できます。

① 標準状態は下記の様になっています。



② 高畦等でEXローラの幅を狭くしたい場合は、上記EXローラ(ボルトM8×185)とEXドラムカバー(ボルトM10×15)を外してください。

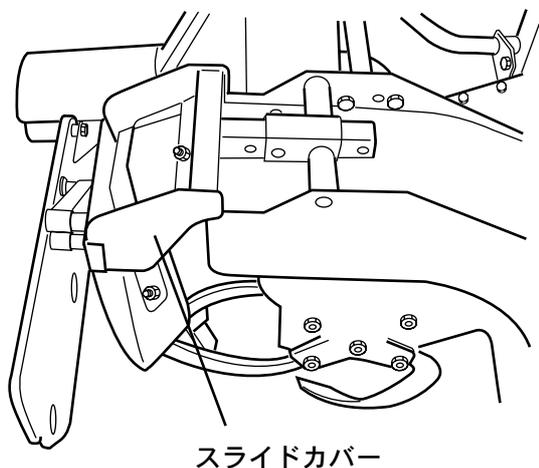
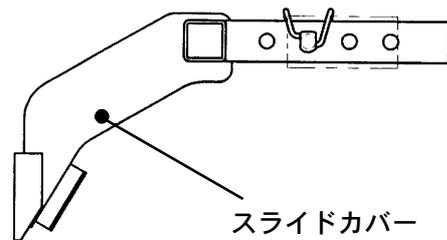


5. スライドカバーの調整

スライドカバーを左右にスライドさせて新畦へ流れる土の量を調整します。

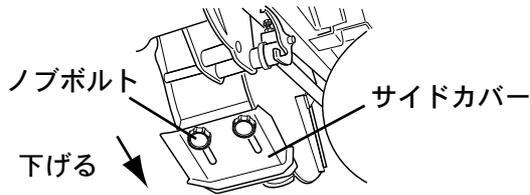
① 法面(傾斜面)に土量が少ない時は、下図の右方向にスライドさせてください。

② 法面(傾斜面)に土量が多い時は、下図の左方向にスライドさせてください。

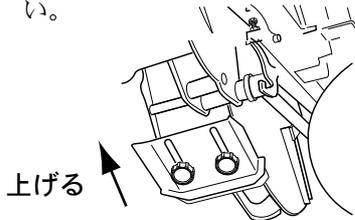


6. サイドカバーの調節

- ・ 畦の方向への土が不足する場合は、ノブボルトをゆるめて、サイドカバーを下げてください。



土が多い時はサイドカバーを上げてください。



② 作業の仕方

1. あぜを太くする場合

トラクターをあぜから少し離して、アゼローターと元あぜとの間隔を少し広めにすれば、あぜを太くできます。

2. あぜを細くする場合

トラクターをあぜに近寄せて、アゼローターと元あぜとの間隔を少し狭くすれば、あぜを細くできます。

3. 元あぜが低い場合

調整ハンドルを縮めて、耕深を通常より深くして作業してください。

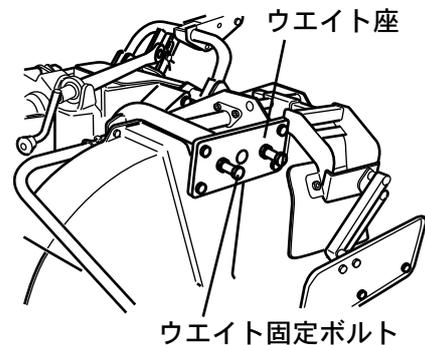
4. 既耕地であぜを作る場合

極端に水分が少ない場所やトラクターがめり込むような場所でなければ、トラクター油圧ポジションで作業高さを調整すれば作業できます。

なお、アゼローターは、未耕地での作業が標準です。先に耕起する場合は、トラクター走行幅は残してください。

5. より締まった畦を作る場合

水分の少ない畦で、固く締まらない場合に機体重量を大きくし、ドラムの圧着力を強くして締まりを良くするためにウエイト座にウエイトを取付することができます。



※ 付属のウエイト固定ボルトが不要な、場合は外してウエイトを取り付けてください。

取扱上の注意

1. ウエイトはボルトで確実に固定してください。
2. 作業時以外は必ずウエイトを外してトラクターのフロント側に取付けてください。

作業後の手入れ

1. 作業後は、その日の内に水洗いし、土などの汚れを落とした後、水分を十分にふきとってください。
2. 各部に注油・給脂(グリスアップ)してください。
3. 洗車時の注意
高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり、機械を破損・損傷・故障させることがありますので、高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って、正しく使用してください。

▲ 注意 (高圧洗車機)

機械を損傷させないように洗車ノズルは拡散にし、2m以上離して洗車してください。もし、直射や不適切に近距離から洗車すると機械の破損・損傷・故障や事故の原因になります。

- 例 1) 電気配線被覆の損傷・断線によるショート・火災の発生
- 2) シール・ラベルの剥がれ
 - 3) 電子部品等への水浸入による故障
 - 4) 樹脂類(カバーなど)の破損
 - 5) 塗装・メッキ皮膜の剥がれ



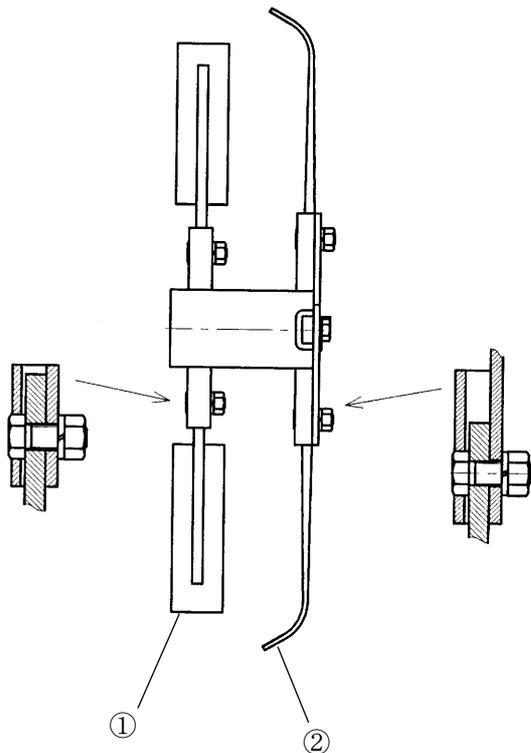
耕うん爪の交換

① 耕うん爪の種類と本数

規格	型式	BR620DS
ナタツメ	BR3060RZ	4
ハイドツメ	AR31	2
取付ボルト	M12×30 P1.5 8T	6

② 耕うん爪の取付方法

- ①のホルダにハイドツメ (AR31) を取付け、ボルトを六角穴に入れホルダの右側よりバネ座金とナットを入れて締め付けてください。
- ②のホルダにナタツメ (BR3060RZ) を取付け、ボルトを六角穴に入れ、ホルダの右側よりバネ座金とナットを入れて締め付けてください。



▲ 注意

- 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした所で行ってください。
- トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して、油圧ロックを行い、かつ、台などをアゼローターの下に置き、アゼローターが落下しないようにしてから行ってください。
- ボルト、ナットを緩めたり、締め付ける場合は、19のメガネレンチが確実に入った状態で作業してください。
- 作業は丈夫な手袋を着用して行ってください。

◆ 爪の交換は、一度に全部はずして交換するのではなく、一本ずつはずして同じ形状刻印の爪を取り付けていくと、配列の誤りはなくなりなす。

◆ 爪が摩耗してきますと、作業状態が悪くなってきます。早めにコバシ純正爪と交換してください。

保守・点検

機械を長持ちさせるためには、普段の保守・点検が大切です。

保守・点検に当たっての注意

⚠ 注意

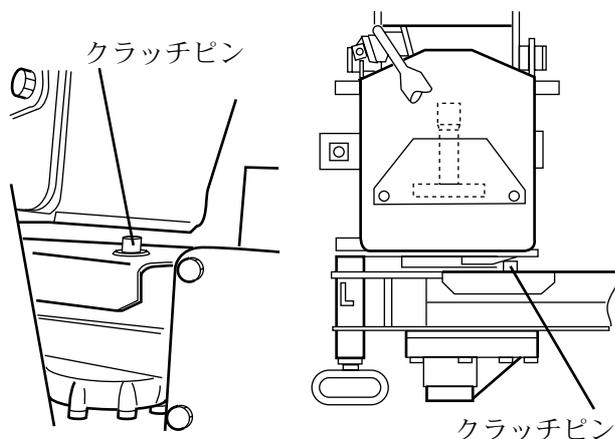
1. 平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした所で行ってください。
2. トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して、油圧ロックを行い、かつ、台などをアゼローターの下に置き、アゼローターが落下しないようにしてから行ってください。

1. 洗車

作業終了後は、きれいに水洗いを行い、水分を拭き取ってください。

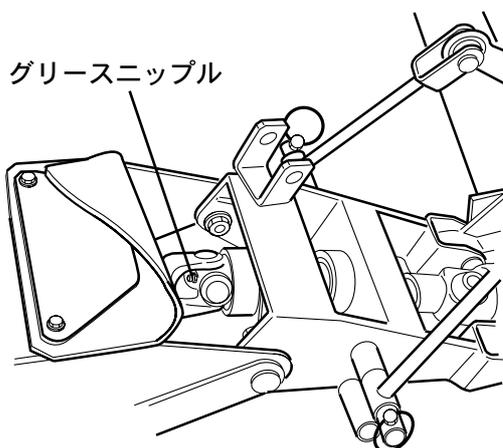
2. グリス塗布

- ① アゼローターをトラクターから外してください。
- ② クラッチピンにグリスを塗布し雨ざらしにならない所で保管してください。



3. グリスの給油

作業機側のダブルジョイントにグリスアップしてください。



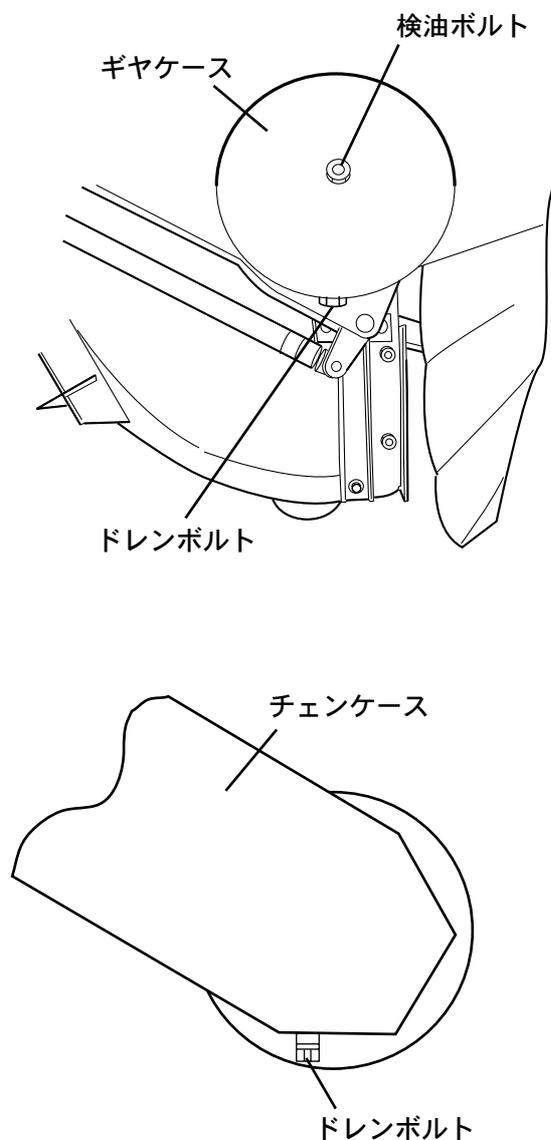
3. 給油と交換

点検項目	種類	オイル量	点検・交換時間
ギヤケース・チェーンケースのオイル量点検	—	—	毎作業前
ギヤケース・チェーンケースのオイル交換	#90	2.0ℓ	初回 50時間 その後150時間

* グリスは、日本石油エピノック2番又は同等品（リチウムグリス）を使用してください。

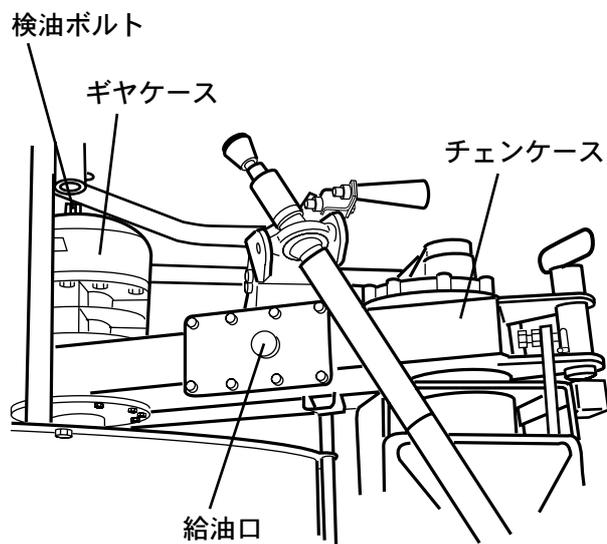
① ギヤケースとチェンケースの給油と交換

ギヤケース、チェンケースのオイル交換は作業時（オフセット下操作）の状態にしてドレンボルトを外してオイルを出します。



② ギヤケースとチェンケースの給油

ギヤオイル90番を給油口から規定量まで入れてください。(2.0ℓ)



* オイル量の点検はアゼローターを水平にして行ってください。

4. オイルシールの組み替え

整備などの目的でチェンケース等を分解される場合は、必ず新しいオイルシール、ゴム付座金バッキンと交換してください。オイル漏れの原因になります。

保管・格納

1. 平坦で地盤のしっかりした、屋根のある場所に保管してください。
2. 格納後は、みだりに子供などが触れないような処置をしてください。

点検整備一覧表

時 間	項 目	参照ページ
使用始め	チェンケース&ギヤケースのオイル量点検	22
1時間使用	全部のボルト、ナットを増し締め	22
50時間使用	①チェンケース&ギヤケースのオイル交換	29
毎日の作業前	①チェンケース&ギヤケースのオイル量、オイル漏れの点検	29
	②耕うん爪の取付ボルトの増し締め	22
	③ジョイントのグリスニップルへのグリス注入	29
	④地面から上げて空転での、異音、異常振動等、異常の点検	22
毎日の作業後	①洗浄後、水分拭き取り	29
	②ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落の点検	22
	③耕うん爪、爪ホルダ等の摩耗、切損の点検	28
	④入力軸へグリス塗布	29,30
	⑤ジョイントスプライン部へグリス塗布	29
	⑥ジョイント、ノックピンへ注油	29
	⑦可動部へ注油	
150時間毎又は シーズン終了	①ギヤケースのオイルシールの異常点検	
	②チェンケース&ギヤケースのオイル交換とオイルシール、 パッキンの点検	30
	③ジョイントやシャフトへのグリス塗布	29
	④安全ラベルの剥がれの点検	6~8
	⑤無塗装部へのサビ止め	
	⑥消耗部品の早期交換	33

異常診断一覧表

使用中あるいは使用後の点検時に下表の異常が発生した場合、そのままにしておきますと故障、事故の原因となります。

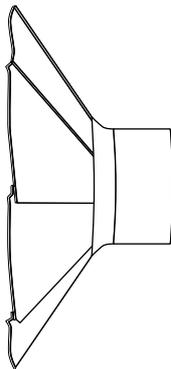
直ちに対策を行ってください。

アゼローターの各部	症 状	原 因	対 策
ギヤケース	異音の発生	ベアリングの損傷	ベアリング交換
		ギヤの損傷	ギヤ交換
	オイル漏れ	入力軸：軸受け部オイルシールの損傷	オイルシール交換
		取付ボルトのゆるみ	ボルト増し締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
チェンケース	異音の発生	チェンテンションの破損	テンション交換
		スプロケットの損傷	スプロケット交換
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
	オイル漏れ	オイルシール、Oリングの劣化、損傷	オイルシール、 Oリングの交換
		取付ボルトのゆるみ	ボルト増し締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
	耕うん軸	異音の発生	軸受け部のベアリングの損傷
耕うん爪取付ボルトのゆるみ			ボルト締め付け
耕うん爪の変形によるカバーとの干渉			耕うん爪交換
振動の発生		耕うん爪軸の曲がり	耕うん爪軸交換
		耕うん爪、爪軸へのワラ、草等のかかり	ワラ、草等の除去
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
軸回転不良		チェンの切損	チェン交換
		駆動軸の切損	駆動軸交換
		ギヤの破損	ギヤ交換
土のたまりすぎ		耕深が深い	耕深を浅く

アゼローターの各部	症 状	原 因	対 策
ジョイント	異音の発生	グリス切れ	グリスアップ
		ジョイント折れ角が不適合	マッチング姿勢の矯正
		作業機の上げすぎ	リフト量の規制
	スプライン部のガタ	ノックピンとヨークの摩耗	交換

消 耗 部 品

1. ドラム



2. ナタツメ



3. ハイドツメ



用語解説

アタッチメント

アゼローターに後付けする部品

オートヒッチ

トラクターに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

クリーブ

超低速の作業速度

耕 深

耕うんする深さ

3点リンク

トラクターに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

チェックチェン

作業機が左右に振れる量を規制するトラクタのチェン

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

揚力

トラクターが作業機を上昇させるための力

ジョイント

トラクターの動力を作業機へ伝達するための軸

リフトロッド

トラクターが作業機を上げるためロアーリンクと連結しているアーム

リリーフ弁

油圧装置に規定以上の油の圧力がかかり油圧装置が破損することを防止する弁

ロアーリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊下げているリンクで左右1本ずつある

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

主 要 諸 元

型 式		BR620DS-AS	BR620DS-FM	BR620DS-TC
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1220(1200)	1260(1250)	1230(1210)
	全 幅 (mm)	1390(1240)	1390(1220)	1390(1220)
	全 高 (mm)	990(770)	990(770)	990(770)
質 量 (kg)		160 (142)	162 (144)	160 (142)
適応トラクター		KJ11,GB13,GB14 GB15,A13,A14 B52,B72	Ke30,40,50,60 MT136,146,156	TC13
装着装置の種類		2P	2P	2P
標準作業速度(km/hr)		0.4~0.8		
作業能率(分/100m)		8~15		
入力軸回転速度(rpm)		540		
掘 削 部	爪本数	ナタツメ : 4本 ハイドツメ : 2本		
	回転径(mm)	630		
整 形 部	ドラム形状	8面段付ドラム		
	ドラム径(mm)	620		
適応畦高さ(mm)		150~250		
オフセット方法		ツイストアップ方式		
オフセット量(mm)		490		

* () の数値は作業時寸法を示す。

主 要 諸 元

型 式		BR620DS-TM	BR620DS-MM	BR620DS-S
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1240(1220)	1260(1240)	1140(1070)
	全 幅 (mm)	1390(1260)	1390(1220)	1390(1320)
	全 高 (mm)	990 (770)	990 (770)	990 (900)
質 量 (kg)		160 (142)	160 (142)	165 (147)
適応トラクター		TM15,17	MMT14,15,16	GB16,160
装着装置の種類		2P	2P	特4P A1形
標準作業速度(km/h)		0.4~0.8		
作業能率(分/100m)		8~15		
入力軸回転速度(rpm)		540		
掘 削 部	爪本数	ナタツメ : 4本 ハイドツメ : 2本		
	回転径(mm)	630		
整 形 部	ドラム形状	8面段付ドラム		
	ドラム径(mm)	620		
適応畦高さ(mm)		150~250		
オフセット方法		ツイストアップ方式		
オフセット量(mm)		490		

* () の数値は作業時寸法を示す。

主 要 諸 元

型 式		BR620DS-T	BR620DS-SI	BR620DS-GB
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1190 (1070)	1200(1140)	1280 (1160)
	全 幅 (mm)	1390 (1320)	1390 (1320)	1390 (1320)
	全 高 (mm)	990(900)	990(900)	990(900)
質 量 (kg)		168 (150)	168 (150)	168 (150)
適応トラクター		AF114,116 MT161	TF15,17 TF153,173	GB16,160
装着装置の種類		特4P A2形	特4P A1形	特3P 直装
標準作業速度(km/h)		0.4~0.8		
作業能率(分/100m)		8~15		
入力軸回転速度(rpm)		540		
掘 削 部	爪本数	ナタツメ : 4本 ハイドツメ : 2本		
	回転径(mm)	630		
整 形 部	ドラム形状	8面段付ドラム		
	ドラム径(mm)	620		
適応畦高さ(mm)		150~250		
オフセット方法		ツイストアップ方式		
オフセット量(mm)		490		

* () の数値は作業時寸法を示す。

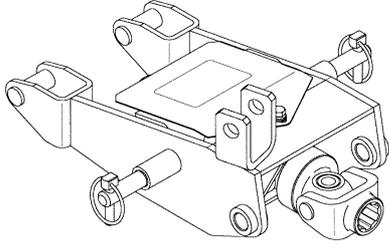
主 要 諸 元

型 式		BR620DS-YB	BR620DS-1S	BR620DSL-TC	BR620DSL-T
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1290 (1150)	1170(1070)	1230(1210)	1190(1070)
	全 幅 (mm)	1390 (1320)	1390 (1320)	1490 (1340)	1490 (1420)
	全 高 (mm)	990 (950)	990 (930)	990 (770)	990 (900)
質 量 (kg)		168 (150)	177 (159)	164 (145)	172 (153)
適応トラクター		FX16,17 FX165,175 F17,175	11~17PS	TC13 TPC15	AF114, 116
装着装置の種類		特3P クイック (B)	3P 0.1形 直装	2P	特4P A2形
標準作業速度(km/h)		0.4~0.8			
作業能率(分/100m)		8~15			
入力軸回転速度(rpm)		540			
掘 削 部	爪本数	ナタツメ : 4本 ハイドツメ : 2本			
	回転径(mm)	630			
整 形 部	ドラム形状	8面段付ドラム			
	ドラム径(mm)	620			
適応畦高さ(mm)		150~250			
オフセット方法		ツイストアップ方式			
オフセット量(mm)		490			

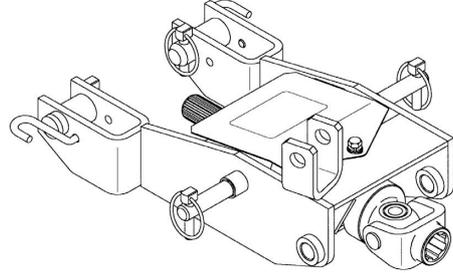
* () の数値は作業時寸法を示す。

装着装置の種類

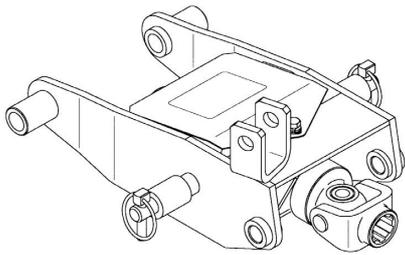
2点リンク (BR620DS)



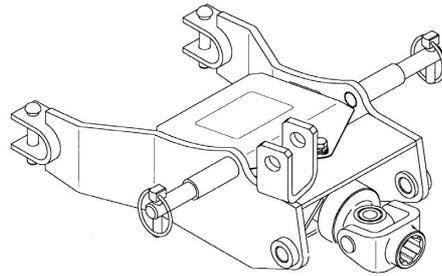
2点リンク (BR620DS-FM)



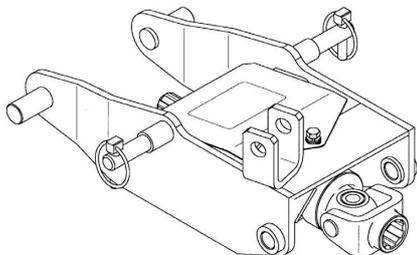
2点リンク (BR620DS-TC)



2点リンク (BR620DS-TM)

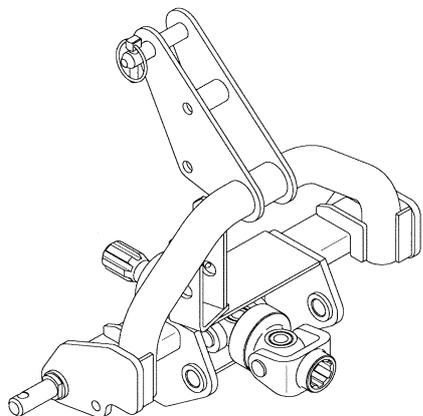


2点リンク (BR620DS-MM)

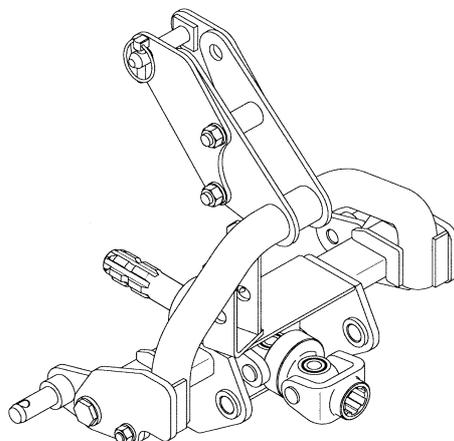


装着装置の種類

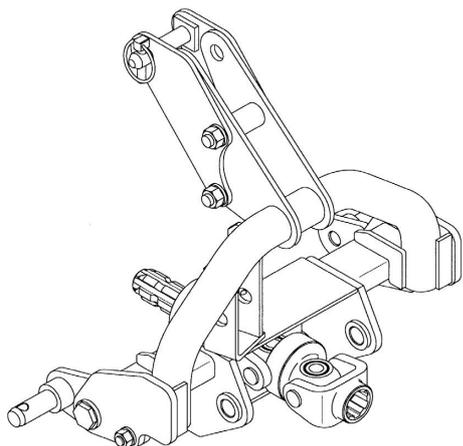
特4P A1形 (BR620DS-S)



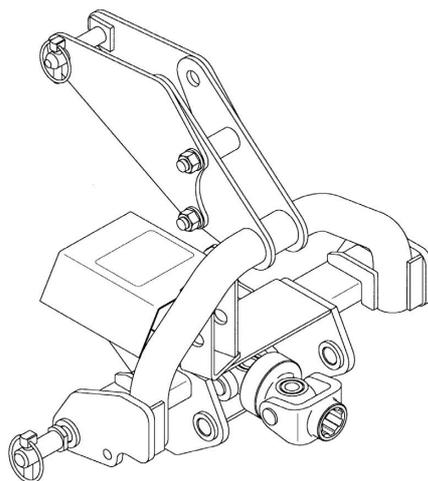
特4P A1形 (BR620DS-SI)



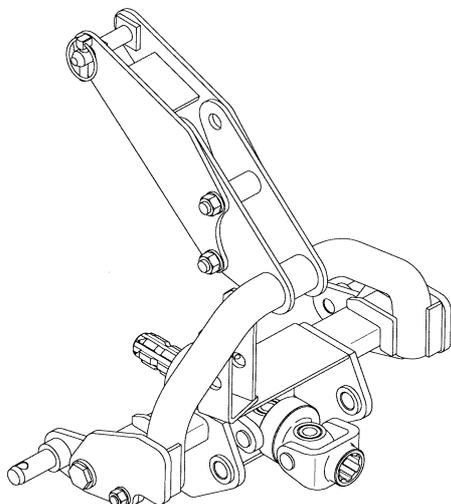
特4P A2形 (BR620DS-T)



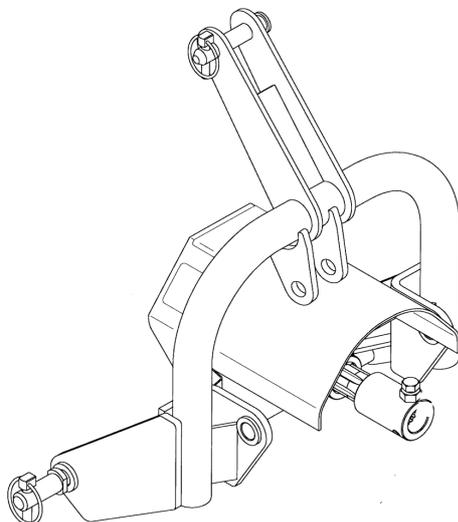
特3P 直装 (BR620DS)



特3P クイック (B) (BR620DS-YB)



標準3P 直装 (BR620DS-1S)



KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

☎ (086) 298-3112

インターネットでも弊社の情報をご覧いただけます。

<http://www.kobashikogyo.com>

■北海道営業所	〒071-1248	北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番	☎ (0166) 49-0070
■東北営業所	〒024-0004	岩手県北上市村崎野13地割35-1	☎ (0197) 71-1160
■関東営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1	☎ (028) 687-1600
■新潟営業所	〒942-0041	新潟県上越市安江477-1	☎ (025) 546-7747
■岡山営業所	〒701-0165	岡山市北区大内田727	☎ (086) 250-1833
■九州営業所	〒861-2236	熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F	☎ (096) 286-0202